

認知症になっても 住みよい街づくり 市民向けセミナー 2017

～ 認知症診療の流れと対応について ～

認知症疾患医療センター 副センター長
(鶴川サナトリウム病院 精神科/老年精神科)

奥村 武則 医師

医学博士 精神保健指定医

日本精神神経学会 精神科専門医・指導医/日本老年精神医学会認知症専門医・指導医

日本精神科医学会認知症臨床専門医/認知症サポート医

参加費
無 料

2017

11.9 木

14:00～15:45

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症を患う人の数が700万人を超えるとされ、65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症に罹患すると推計されています。2012年以降約10年で1.5倍にも増える見通しです。

認知症になっても住み慣れた地域で生活を送るためには、医療や介護の専門職種だけでなく地域住民の方々の知識や力がとても重要となってきます。

今回のセミナーでは、認知症疾患医療センターの副センター長で認知症の専門医でもある、鶴川サナトリウム病院の奥村医師を講師として迎え、認知症診療の流れや対応についてお話いただきます。

場 所 町田市南市民センター
町田市金森 4-5-6

定 員 先着 100 名

申し込み方法 電話またはFAXにて
お申し込みください

● 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
● 車いすを利用される方で、駐車場の利用を希望されるは、事前にご連絡ください。

同時開催 笑いヨガ体験program

30分ほどの体験会を予定しています。笑いの力を体験してください。



作業療法士 壬生 裕樹

申し込み
問い合わせ先

町田市南第3高齢者支援センター

〒194-0046 東京都町田市西成瀬2-48-23

TEL:042-720-3801

FAX:042-860-7022

主催 | 町田市 南第1高齢者支援センター・南第2高齢者支援センター・南第3高齢者支援センター

協賛 | 町田市南地区協議会

協力 | 東京都指定認知症疾患医療センター(鶴川サナトリウム病院)